

浄水所について新聞を書こう

教科書出版社名（教育出版）

副読本（吹田市教育委員会）

○ 小学校（４）年 教科等（社会）

○ 「自ら学ぶ子どもの育成」に向けて、この単元で付けたい力

- ・新聞の特徴を知り、伝えたいことを中心にして、明確に記事を書く方法を知る。
- ・読者にとって見やすい新聞記事を書く。

○ 学校図書館活用のポイント

- ・小学生新聞の記事を読み、何が書かれているかをワークシートにまとめていくことで新聞の特徴をつかむ。（新聞名・発行者・発行日・写真、記事の内容など）
- ・学校図書館の本の並べ方を知り、学習に使う本を自分で探す練習をする。

○ 学習の展開（全６時間）

第１次	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞にはどんなことが書かれているかをたしかめる。 ・小学生新聞を使い、話し合う。
第２次	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞作りの計画を立てる。 ①だれに記事を読んでもらうか？②新聞名③記事の内容（自分の体験したこと・聞いたこと・本で調べたこと・アンケート調査など）④文の書き方⑤わりつけ⑥見出しを書く⑦その他の記事も書く
第３次	<ul style="list-style-type: none"> ・取材して、記事の下書きを書く。 ・浄水所で働く方から聞いたことをまとめる。写真や資料を集める。
第４次	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞づくりの計画をたてる。 ・すべての記事の下書きを見て、記事のわりつけを考える。 ・見出し、写真、資料をどのように配置するとよいかを考える。
第５次	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞を完成する。 ・記事を清書する。写真や資料があればはりつける。
第６次	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちの記事を読み、よいところや工夫されているところについて感想を伝え合う。 ・今回の学習をふりかえる。

【取組みを終えて】

○ 学校図書館を活用した学習における成果と課題

① 成果	・見やすい記事の書き方について子どもたち自身が考え、文字数や写真、資料などを工夫することができた。記事の中にクイズ、四コマ漫画などを取り入れることもできた。
② 課題	・読書量が少ない子どもは本で調べることには消極的だったため、読書支援者や担任と連携し、事前にわかりやすい本や資料を提供することで本に触れる機会を増やしたが、意欲的に活用するまではいかなかった。
③ 児童の感想・ふりかえり	・四月に校外学習へ出かけた大阪府警察本部について新聞を書いたときより、工夫して記事を書くことができた。 ・文を写すだけでなく、内容を少しまとめて書くことができた。写真、図などもいねいに書いて新聞に入れることができた。

○ 学校図書館を活用した際に注意した点や学習の中で工夫した点について

・校外学習に子どもたちと一緒に浄水所見学に行くことで、子どもたちの興味・疑問に少し近づけたような気がした。このことで子どもたちの知りたい情報についての資料を早めに用意することができた。 ・記事のテーマを細かく提案することで本や資料を多数用意し、子ども自身が自分で本や資料にふれる時間をたくさんとるようにした。 ・調べ学習をしている際には、意欲的に辞典を活用することができた。 ・子どもたちの新聞記事に参考資料についても記載することを指導した。 ・子どもたちの興味がわくような記事を用意し、新聞名、見出し記事を工夫できるようにした。 ・支援者が調べ学習のポイントをまとめて、教員用の図書だよりを作成、配付し、それをもとに授業を行った。

ふりかえろう 新聞づくり

4年 組 名前()

めあて 1、1学期の新聞づくりでがんばったことをふりかえる。

2、友だちの新聞によいところを見つける。

①くふうしたところ・がんばったところ ○をつけましょう。

資料から書きたいことを選ぶ() 取材(アンケート・インタビュー・その場所へじっさいに行く)()

写真・絵・図・表などを使う() 題名・見出しのくふう() わりつけのしかた()

相手にわかりやすく書く()

② ①を参考にして、水新聞で、特に見てほしいところを書きましょう。

③ ①を参考にして、友だちの新聞のよいところを見つけて書きましょう。

ひとことよいところを見つけ	なまえ

④ 2学期にさらにがんばりたい、くふうしたいことなどを書きましょう。